

仕様書

1 件 名

磁気共鳴断層撮影装置一式（フィリップス製品）の保守委託

2 保守対象物件及び台数

別紙「保守委託対象機器内訳」のとおり

3 履行場所

東京都健康長寿医療センター 放射線診療科

4 保守委託期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

5 保守委託業務内容

(1) 目 的

受託者は、本仕様書に基づき、対象物件の保守点検及び緊急保守を行い物件の機能を常に最良の状態に保つとともに、故障の早期発見・事故の未然防止に努め、又、突発的な故障の際は直ちに修復させなければならない。

(2) 定期点検保守

ア 定期点検は、上記保守期間中、別紙「定期点検回数及び点検実施月」のとおり実施する。

イ 受託者は、上記定期点検実施月に、製造メーカー所定の点検作業を実施する。

(3) 緊急保守

ア 受託者は、本契約に基づき緊急修理に備え、直ちに来院できるような体制を常に整えておかなければならない。

イ 受託者は、物件が正常な作動を行わない旨、委託者からの連絡を受けた時は、直ちに機器の修理を行わなければならない。

ウ 受託者は、定期点検等により物件の状況を把握し、緊急修理の際直ちに対応できるように努めなければならない。

エ やむをえず、応急処置等をした時は、事後速やかにこれの完了を図らなければならない。

(4) 作業時間等

ア 受託者は、物件の点検及び緊急修理を行う場合、原則として土曜日・日曜日・祝日等、委託者の病院運営に支障のない時間に、作業を行わなければならない。但し、委託者があらかじめ指示する場合は、協議のうえ行うものとする。

イ 作業は、委託者の業務に支障のないように行わなければならない。

(5) 技術員等

緊急保守を行う技術員は、物件に熟知し技術もしっかりした優秀な技術員でなければならない。

(6) 報告書の提出

受託者は、支払期間毎に履行の完了を委託完了届で報告する。また、緊急保守による修理を行った場合は、速やかに作業結果の報告書を提出することとする。

(7) 機器の院外持ち出し

故障修復等により、物件を院外に持ち出す必要のある時は、委託者と協議のうえ、物品と引き替えに物品預かり書を委託者に提出しなければならない。

(8) 環境により良い自動車利用

本契約の履行に当たって自動車を使用し、又は使用させる場合は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成 12 年東京都条例第 215 号）」及びその他法令の規定に基づき、次の事項を遵守すること。

ア ディーゼル車規制に適合する自動車であること。

イ 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成 4 年法律第 70 号）の対策地域内で登録可能な自動車であること。

ウ 低公害・低燃費な自動車に努めること。

なお、適合の確認のために、当該自動車の自動車検査証（車検証）、粒子状物質減少装置装着証明書等の提示又は写の提出を求められた場合には、速やかに提示又は提出すること。

6 費用負担区分内訳

別紙「費用負担区分」のとおり

7 支払方法

履行完了後、当センター所定の検査を行い、検査合格後、適法な請求書を受領した後、翌々月の末日までに支払う。

8 賠償責任

受託者は、この業務の実施に当たって故意又は過失により当該物件その他物品等に損害を与えた時は、受託者の責任において速やかに原状復帰させなければならない。

なお、これに係わる費用は、受託者の負担とする。

9 秘密保持

(1) 保守業務を行うに当たって、知り得た医療上・技術上の情報を契約履行の目的以外には使用してはならない。

(2) 個人情報の取扱については、別紙「個人情報の取扱に関する特記事項」による。

10 受託者変更時における引継ぎ

受託者の変更時に当たっては、新たな受託者と十分に引継ぎ業務を行い、当該業務に支障をきたすことのないように対処しなければならない。この際必ず引継ぎ書を作成すること。

11 その他

契約期間中に消費税率が改定された場合、税率変更日以降の契約額は改定後の新税率に基づき契約変更にて対応すること。

本仕様書において、不明な点及び詳細について疑義のある時は、双方の協議により処理する。